

御霊の神はすべての真理に導いてくださる

ヨハネ福音書16:8-15

【新改訳 2017】

- 16:8 その方が来ると、罪について、義について、さばきについて、世の誤りを明らかになさいます。
 16:9 罪についてというのは、彼らがわたしを信じないからです。
 16:10 義についてとは、わたしが父のもとに行き、あなたがたがもはやわたしを見なくなるからです。
 16:11 さばきについてとは、この世を支配する者がさばかれたからです。
 16:12 あなたがたに話すことはまだたくさんありますが、今あなたがたはそれに耐えられません。
 16:13 しかし、その方、すなわち真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導いてくださいます。御霊は自分から語るのではなく、聞いたことをすべて語り、これから起こることをあなたがたに伝えてくださいます。
 16:14 御霊はわたしの栄光を現されます。わたしのものを受けて、あなたがたに伝えてくださるので
 す。
 16:15 父が持っておられるものはすべて、わたしのものです。ですからわたしは、御霊がわたしのものを受けて、あなたがたに伝えると言ったのです。

【祈りながら考えよう】

- (1) 罪について、義について、さばきについて、世の誤りを明らかにされるとはどういう意味ですか。
- (2) 真理の御霊は、人をどのように「すべての真理に導き入れ」ますか。
- (3) 様々な教えや説教を吟味する方法は何ですか。

【解 説】

(1) 世の誤りを明らかになさる

「その方が来ると、罪について、義について、さばきについて、世の誤りを明らかになさいます」(8節)
 その方、すなわち、聖霊が来られると、3つのことについて、この世の人々が誤っていることを明らかにさせると、主は語られた。
 「①罪について、②義について、③さばきについて、世の誤りを明らかになさいます」と。

(2) 罪について

それに続いて、主はその一つ一つについて説明していかれる。
 「罪についてというのは、彼らがわたしを信じないからです。」
 聖霊は、キリストを信じなかった「罪」に対して世の誤りを明らかにされた。主こそは信じるにふさわしい方であった。主を信じるができない理由は、何一つ主ご自身にはなかった。しかし、人々は主を拒んだ。
 その人々にも聖霊が働かれると、心を刺されて、自分がいかに自己本位の生活をして、キリストに反逆していたかということが分かり、自分の罪を認めないわけにはいなくなる。

(3) 義について

次に、「義についてとは、わたしが父のもとに行き、あなたがたがもはやわたしを見なくなるからです。」
 主はご自分が義であると主張されたのに、人々はキリストには悪霊がついていると言った。
 「これを聞いたパリサイ人たちは言った。『この人が悪霊どもを追い出しているのは、ただ悪霊どものかしらベルゼブルによることだ。』」(マタイ12:24)
 神はこの問題に決着をつけられた。神は、要するに、以下のように言われたのである。
 「わが子は義である。彼を死者の中からよみがえらせ、天に連れ帰ることによって、そのことを証明しよう」
 正しかったのはキリストであり、間違っていたのは世であることを、聖霊は証言される。

(4) さばきについて

三番目に、「さばきについてとは、この世を支配する者がさばかれたからです。」

「この世を支配する者」とは、言うまでもなく悪魔である(ヨハネ12:31、14:30)。悪魔は、キリストを十字架に付けた時、これによって勝利したと思った。しかし、実際は、キリストの死によって悪魔はその頭を打ち砕かれた。
 「それは、死の力を持つ者、すなわち、悪魔をご自分の死によって滅ぼし(無力にし)、死の恐怖によって一生涯奴隷としてつながれていた人々を解放するためでした。……それで民の罪の宥めがなされたのです。」(ヘブル2:14-17)
 キリストの十字架刑は人の罪を贖う血を流すものであった。

イエスの血による贖いを信仰によって受け入れる者を悪魔は責めることができない。

「兄弟たちは、子羊の血と、自分たちの証しのことばのゆえに竜(悪魔)に打ち勝った。」(黙12:11)

また主は、死人の中から復活されることによって、悪魔の最後の武器である死に打ち勝たれ、悪魔を敗北させられた。そして、やがて終わりの時の裁きが悪魔を待つばかりとなった。

この真理を明らかにされたのは、聖霊にほかならない。聖霊の啓示によって、今日、私たちは主の血による贖いの完全さを示され、罪に打ち勝つ聖霊の力を与えられ、勝利の信仰生活を送ることができるようにされた。

(5) すべての真理に導いてくださいます

それに続いて、主は弟子たちにとって益となる第二番目のことを述べておられる。それが12節以下のところである。

「あなたがたに話すことはまだたくさんありますが、今あなたがたはそれに耐えられません。しかし、その方、すなわち真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導いてくださいます。御霊は自分から語るのではなく、聞いたことをすべて語り、これから起こることをあなたがたに伝えてくださいます。御霊はわたしの栄光を現されます。わたしのものを受けて、あなたがたに伝えてくださるのです。」(12-14節)

ここで、主が教えておられることの中で、「すべての真理に導いてくださいます」と言われたことは、具体的には何を意味するのだろうか。

主が始められたわざは「真理の御霊」によって継続されるべきものであった。御霊は弟子たちを「すべての真理に導き入れ」ようとしておられた。

ある意味では、「すべての真理」が、主の生涯を通じて、弟子たちに託されたと言ってよい。弟子たちがそれを書き記した結果、今日それが新約聖書となっている。これが旧約聖書に加えられて、神が文字として人間に与えられた啓示が完成した。

そのために、御霊は人を「真理に導き入れる」のに、聖書を用いられる。御霊は、御父また御子からゆだねられたことだけを語る。

私たちが何か困難にぶつかる時、聖霊なる神は、主イエス・キリストの十字架の死と復活という事実を基にして、私たちに打ち勝つ力を与えてくださる。

「やがて起ころうとしていることをあなたがたに示すからです。」
 もちろん、これは新約聖書、特に、未来のことを明かしている黙示録が果たしている。

(6) 御霊は主イエスの栄光を現わす

「御霊はわたしの栄光を現されます。わたしのものを受けて、あなたがたに伝えてくださるのです。」(14節)

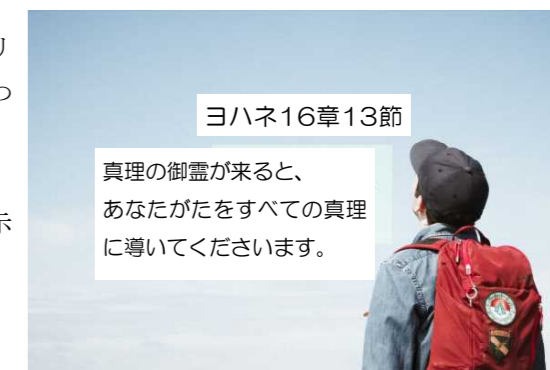
御霊の第1の働きはキリストの「栄光を現」すことである。これにより、あらゆる教えや説教を吟味することができる。もしそれが、救い主に賛美を帰するものであれば、聖霊によるものである。だまされてはいけぬ。

「わたしのものを受けて」というのは、キリストに関する偉大な真理を受け取られるのは「御霊」であることを意味している。それを御霊は「信者」に明らかにしてくださる。

(7) 御父、御子、御霊の全き統一

父が持っておられるものはすべて、わたしのものです。ですからわたしは、御霊がわたしのものを受けて、あなたがたに伝えると言ったのです。(15節)

この聖句は、御父、御子、御霊の全き統一を示す。「聖霊はあなたがたに、わたしに関すること、また同時に、父に関することを示す。なぜなら父が持っておられるものはすべて、わたしのものだからです。」



ヨハネ16章13節

真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導いてくださいます。